

中宮まぶね保育園



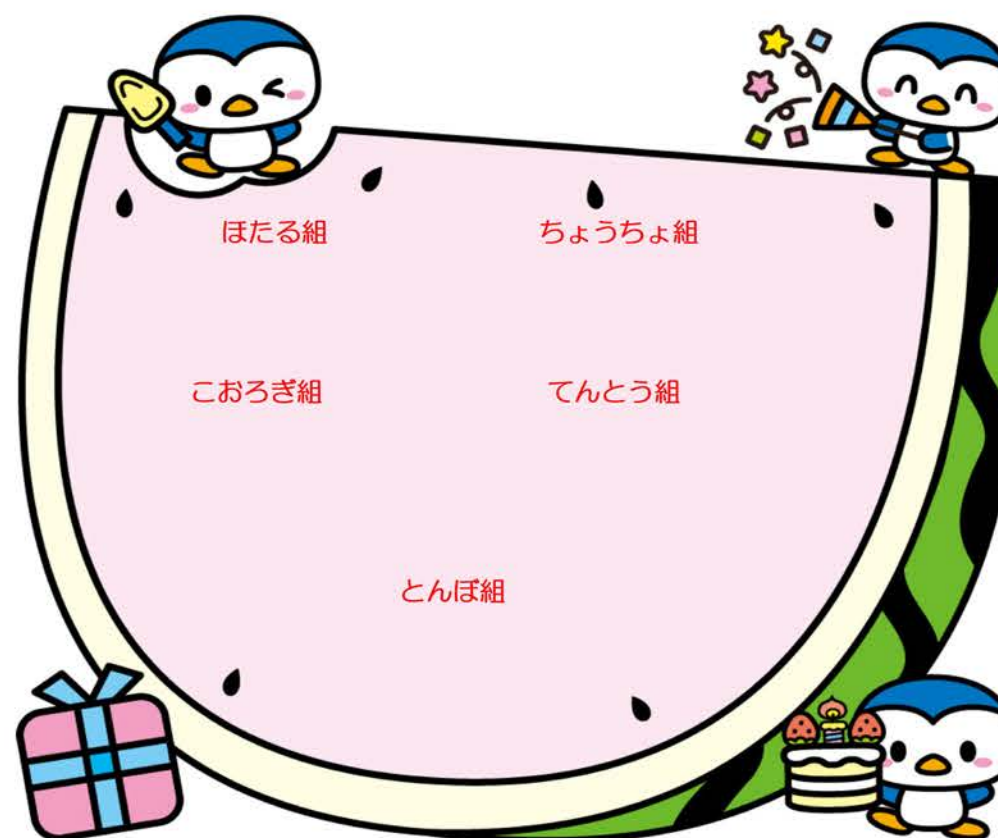
2022年8月1日発行

暑中お見舞い申し上げます。
 今年は早くから梅雨も明け、暑くじめとした日が長く続いて少しバテ気味です。そういった日々の中、8月に入り蝉の泣き声も一層園庭に響きいよいよ夏真っ盛りといった感じです。そしてお盆を過ぎたあたりから今年も玄関でスズムシが鳴き始め、少しずつ秋の気配を感じられるようになるでしょう。暑さに疲れますが、8月は子どもたちの声と蝉時雨に元気をもらいながらのりきります。
 中宮まぶね保育園 園長 松尾太郎

よい子ネット登録ありがとうございました

緊急時や特別なお知らせ等が発生した場合に、よい子ネットからメールを配信します。よい子ネットの情報を確認し、早急な対応をしていただけるようご協力よろしくお願いします。

	日	月	火	水	木	金	土
8月の行事予定		1	2 発育測定	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23 英語あそび教室	24	24 無料法律相談	26 ダンス教室	27
	28	29 夏まつり(幼児)	30 夏まつり(乳児)	31 誕生日会 太鼓教室			



社会福祉法人 日本コイノニア福祉会

中宮まぶね保育園

〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1

Tel/072-840-2780 fax/072-840-3212

E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp

URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

5月に夏野菜の種や苗を植え、子ども達が毎日水やりをしてくれたおかげで、たくさん野菜ができました。
 ピーマン・トマト・なすを毎日収穫しています。
 ミニ畑で育てたトウモロコシや枝豆も収穫できました。

まん丸に大きく育ったスイカもそろそろ食べ頃かな・・・

★入園したおともだち★



☆退園したおともだち☆



お世話になりました

▼退職した職員

【今月の聖書の言葉】 2022年 8月号

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」

(テサロニケの信徒への手紙一 5章16-18節)

私たちはどんな時に喜び、また感謝しているのでしょうか。喜ぶということは、わざわざ教えなくても、自然と生まれ持っている感覚のように思います。それこそ小さな子どもたちを見ていると、言葉を話すようになる前から、顔の表情などで上手に喜びを表現します。しかし、その一方で「ありがとう」と感謝するのは、もっと後になってから、言葉と共に教えられて、少しずつ身につけていく感覚かと思います。

ご飯の前に「いただきます」と手を合わせたり、お祈りの時に手を組んだりするのは、他のことをしないで一心に感謝したり、お祈りしたりするためなのだそうです。せわしく自分のことばかりを主張しがちな日々の中でも、そうやって心を込めて自分以外の相手や神様に向き合えるというのは、素敵なことだと思います。聖書の中には、神様が私たちに望んでいることとして、「喜んでいなさい。祈りなさい。感謝しなさい」とありますが、本当に私たちが喜べる時というのは、一人でいる時ではなく、「祈り合える、感謝し合える」関係が周りの人たちと築かれている時ではないでしょうか。神様はできないことを「しなさい」とは言われません。「祈ることができる。感謝することができる」そして共に「喜ぶことができる」ということです。

今夏もコロナ対策や集中豪雨など、心配なことは多くありますが、それらに気をつけながら、みんなでたくさん喜び合える夏になりますように。
 チャブレン・牛田匡